

格の下支えも含め、しっかりと述べていきます。「水田利活用自給力向上事業」については、市としてどのようなことができるのか、農家のやる気を減らすことがないようしっかりと対策を考えてまいります。

質問 今年3月、札幌北区のグループホーム火災で、夜間職員が1人のため、火災の通報しかできず、入居者7人が亡くなる惨事が発生しました。1人の夜勤体制、火災報知器やスプリンクラーの未設置等、問題点が指摘されています。国や県の施設整備補助だけでは、なかなか改善されていない状況があります。市としても、施設整備の支援や、職員の夜間における複数体制確立のため、独自の支援が求められていると思いますが、その考えがないか伺います。

市長 夜勤者を手厚く配慮することは、限られた介護報酬の中では困難であります。さまざまな安全対策を徹底していただき、市独自の支援対策については、今後しっかりと検討してまいります。

認知症グループホームの火災予防状況

(奥州市内10施設99人分)

夜勤職員が1人のみの施設	10施設
スプリンクラーの設置済み施設	2施設
※2施設は免除	
※3施設は今年度設置予定	
※あとの2施設は設置義務なし	
火災報知器の設置済み施設	5施設
避難訓練	すべての施設で実施
夜間の避難訓練	5施設

(市長答弁から)



あべ かよこ
阿部加代子

- 女性のがん検診について
- 子宮頸がんワクチンの公費助成について
- ヒブワクチンの公費助成について
- 音声コード読み上げ機器の導入について
- デイジー教科書の活用について

質問 乳がん、子宮がんは早期治療すればこわくない病気です。そのためには検診が重要です。検診状況について伺います。

市長 受診者は、平成20年度と比較して子宮がん検診で1649人増、乳がん検診は1962人増と大きな伸びとなりました。

質問 昨年実施された検診無料クーポン券の効果が大きかったと

思います。事業を継続して行うべきと考えますが伺います。
市長 この事業が受診率向上に大きな役割を果たしたと思います。事業を続けるために国の安定的支援が必要と考えます。
質問 子宮頸がんワクチンの公費助成について伺います。
市長 3回接種で5万円程度と高額な費用が必要なため、多くの自治体で助成が検討されており、市としても接種費の助成の検討を進めます。

質問 ヒブワクチンの公費助成について伺います。
市長 国の定期接種化への動向を注視してまいります。

日本と欧米のワクチン接種状況

	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ
B型肝炎	▲	○	▲	○	○
ヒブ感染症	▲	○	○	○	○
小児用肺炎球菌感染症	▲	○	○	○	○
高齢者用肺炎球菌感染症	▲	○	○	▲	○
ジフテリア	○	○	○	○	○
百日せき	○	○	○	○	○
破傷風	○	○	○	○	○
結核	○	×	○	○	▲
ポリオ	○	○	○	○	○
麻しん	○	○	○	○	○
風しん	○	○	○	○	○
おたふくかぜ	▲	○	○	○	○
みずぼうそう	▲	○	▲	▲	○
子宮頸がん	▲	○	○	○	○

参考: KNOW★VPD (「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会) ホームページより一部改変。

質問 音声コードの導入と読み上げ機器の整備について伺います。
市長 印刷された音声コードを機器で読み取り、簡単に情報を得ることのできる機器です。2力年で福祉関係部署に整備します。

質問 学習障がい、視覚障がい等のある児童生徒のためデジタル化されたデイジー教科書の活用を進めるべきと考えますが伺います。
教育委員長 効果等をこれから検討してまいります。



たかはし まさいち
高橋 政一

- 特別支援教育支援員の配置基準と増員について
- 青少年の健全育成について

質問 障がいをもつ子どもが、一緒に学習・生活する場が増え、これまでの特殊教育は、特別支援教育として2007年度から学校教育法に位置づけられました。そのため小中学校には、障がいをもつ子どもの介助及び学習を支援する特別支援教育支援員(以後、「支援員」)が配置されています。幼稚園、小中学校への配置基準はどうなっているのか、また、配置数の増員はできるのか伺います。